

## 2022年度 釧路市立高等看護学院 自己点検・自己評価結果報告

厚生労働省の指針である「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針作成検討会」報告書に基づき、自己点検・自己評価委員会を発足し、教職員を対象とした評価を行った。

評価は「Ⅰ. 教育理念・教育目的」「Ⅱ. 教育目標」「Ⅲ. 教育課程経営」「Ⅳ. 教授・学習・評価課程」「Ⅴ. 経営・管理過程」「Ⅵ. 入学」「Ⅶ. 卒業・就業・進学」「Ⅷ. 地域社会／国際交流」「Ⅸ. 研究」の9カテゴリー106項目に基づき、教職員を対象に5段階リッカート尺度（「そう思う：5点」、「ややそう思う：4点」、「あまりそう思わない：3点」、「そう思わない：2点」、「わからない：1点」）を用いて点数化し、平均値を示した。結果については資料1参照。

「Ⅰ. 教育理念・教育目的」「Ⅱ. 教育目標」は前年度に引き続き概ね肯定的な評価であり、平均点は前年度より0.1ポイント上昇した。カリキュラム改正に伴い、現行の教育目標などの課題を明確にすると共に、社会情勢やニーズに合わせたものとなっているか評価した結果であると考えられる。今後も新カリキュラムにおける教育理念、教育目的・目標のもと、地域社会に貢献できる看護師育成に向けて教育活動を行っていく。

「Ⅲ. 教育課程経営」は前年度と比べ平均点が0.1ポイントの上昇となった。新型コロナウイルスの影響により、実習が行えない時期はあったが、前年度までの経験を活かしながら学生の学びを保証するための対応ができた。一方で、項目17は3.6ポイントと低い状況であり、より良い教育を行うための、教員の授業準備・自己研鑽の時間の確保が今後の課題である。

「Ⅳ. 教授・学習・評価課程」は前年度と比較し平均点が0.1ポイントの上昇となった。特に項目9～14については、それぞれ前年度から0.1～0.5ポイント上昇しており、ループリック評価を実習の評価表に取り入れたことで、評価の公平性を保ち、学習者にもわかりやすい評価基準となったと考える。今後は、臨床判断能力の育成に向けた、シミュレーション教育やリフレクションの方法についてさらに発展させていきたい。

「Ⅴ. 経営・管理過程」は平均点が4.4点と前年度から0.2ポイント上昇した。項目9～12については、引き続き教員それぞれが財政面や整備計画について関心を持ち、情報を共有する場を設けていく必要がある。施設設備については実習用ベッドや、筋肉注射練習用モデル、高齢者体験スーツなどを購入し、学習活動に活用している。またデブリーフィング&データ管理システムに関しては定期的に研修会に参加し活用方法についての検討を行っている。看護の専門職教育に必要な施設設備を実際に活用していけるよう教職員が計画的に取り組んでいく。

「Ⅵ. 入学」は前年度と比較し、平均点が0.6ポイントの上昇となった。入学者選抜の考え方やその妥当性の検証について教員の理解が深まったと考えられる。少子化や看護師を志望する人数が減少しているため、今後も入学者選抜の方法の妥当性の検討を行っていく必要がある。

「Ⅶ. 卒業・就業・進学」は平均点が4.1点と前年度と横ばいであった。当校の卒業生は多くが実習病院の市立釧路総合病院へ就職しており、卒業生の状況については概ね把握しているが、統計的な分析が十分できていない現状がある。また、新型コロナウイルス感染症流行の影響で、臨地実習を十分に行えないまま卒業していった学年であるため、今年度は卒業生に向けてどのような支援が必要であったかアンケートを行った。その結果を分析し、次年度の在校生・卒業生への支援体制の強化につなげていく必要があると考える。

「Ⅷ. 地域社会／国際交流」については前年度に引き続き平均点が4.0点と低かった。例年行っていた地域交流のイベントなどのボランティア参加が行えず、地域で生活する人々について理解を深められる場面が少なかった。しかし、年度末には体験学習センターの体験学習を実施することができた。来年度は、地域交流やボランティア活動の参加再開を目指し取り組んでいきたい。

また、海外から帰国して入学を希望する場合においては、他の受験生同様に現在行っている入学試験を実施してもらうことになるが、試験問題や入学後のプリントなどの配布物にルビを振るようにするなど、配慮をしていく。在学中の学生が留学や海外での就学を希望した場合についても、支援する体制を設けていくが、実施例がないため低い評価となっていると考える。

「Ⅸ. 研究」については平均点が3.8点と前年度より0.4ポイント上昇しているが、同様に低い結果となった。学院として、研究に取り組むことは出来ず、看護教育に関する学会での発表は行えなかった。研究に取り組む教員の講義時間数の調整や休暇の調整なども含めて環境を整える努力を今後も行っていく必要があると考える。